

CSR REPORT

2024



Good Quality

Reasonable Price

Good Cleanliness

Good Service



三位一体の信頼と融合により 地域社会に貢献する

(丸久グループ経営理念)

平素は、丸久グループに格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
当レポートでは、当社の 2024 年度の社会貢献活動についてご報告いたします。



1954年3月12日に山口県防府市で誕生した当社は、おかげさまで70周年を迎えました。60周年を迎えた時も、私は常々、この会社を皆様と共に「100年企業」に…、という目標を持ってまいりました。70周年はその7合目道半ばではありますが、変化のめまぐるしい経済環境のなか小売業界にありまして、このような節目を迎えることが出来たのは、大変嬉しく思うところでございます。

70年の中では、当社にとって良い時も、その逆に厳しい時代も経験してきた訳ですが、いつの時代においても地域のお客様にご愛顧いただき、ご支援いただいたことで今日があると感じています。

今後も引き続き、SDGsの活動（貧困問題の解決、廃棄物の削減、リサイクルの推進など）地域社会への貢献活動、地産地消に積極的に取り組んでまいります。



地域に根ざすスーパーマーケットとして、お客様に安心してご利用いただけるお店づくりと、従業員が安心して働ける職場環境づくりを進め、「100年企業」を目指し、身の丈に合った経営に日々邁進してまいります。
引き続き、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社 丸 久

代表取締役社長 田中 康男

店舗でのSDGsへの取り組み

省エネ・CO₂排出量の低減化

2024年度は、2024年3月にアルク長門店（山口県長門市）を出店、2024年5月にアルク下松店（山口県下松市）および同年7月にアルク南浜店（山口県宇部市）の2店舗を改装しました。SDGsへの取り組みとして、改装店舗では、冷凍機器をより環境負荷の少ないR448A冷媒設備に入れ替えや、冷ケース照明のLED化により、省エネ・CO₂の排出量の低減化を進めています。また、トレーやペットボトルの店頭回収をはじめとしたリサイクル推進など地球環境に配慮した店づくりを行っています。



アルク下松店



アルク下松店内



アルク下松店リサイクルBOXコーナー



アルク南浜店

地産地消

地産地消の取り組みとして、地元のJAとの連携を図り、農産物を地元生産者から直接仕入れることにより「採れたての鮮度抜群の商品」を充実した品揃えで展開しています。丸久グループでは県産品の販売拡大に取り組む「販売協力店」に40店舗を登録し地産地消を進めています。



アルク下松店 地産地消コーナー



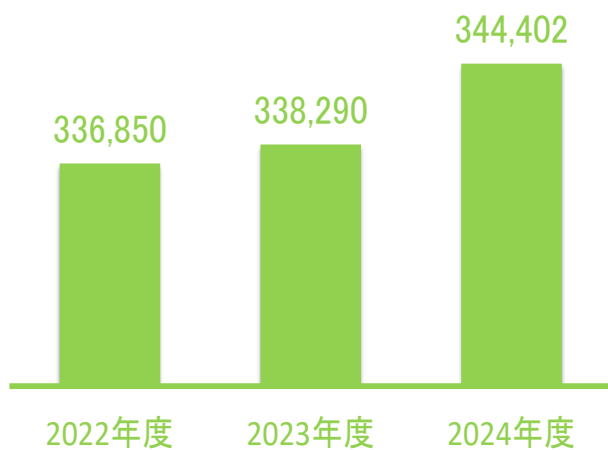
アルク南浜店 地産地消コーナー

リサイクルの推進（2024年度の回収量／過去3年間の推移）

店頭で容器別にリサイクル資源を回収して資源の再利用を促進しています。

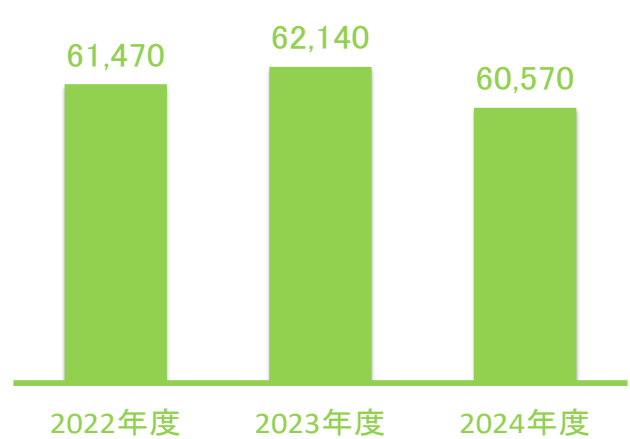
食品トレー

(kg)



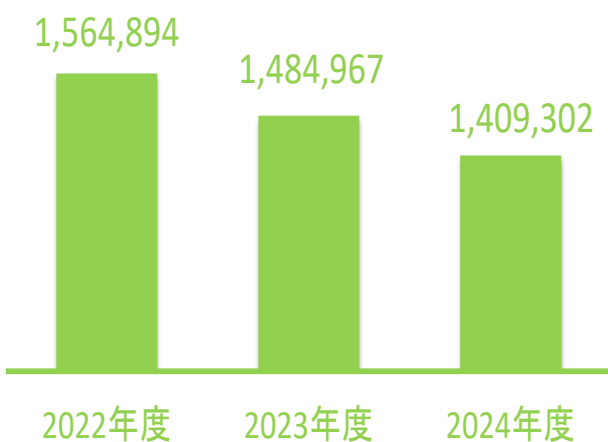
牛乳パック

(kg)



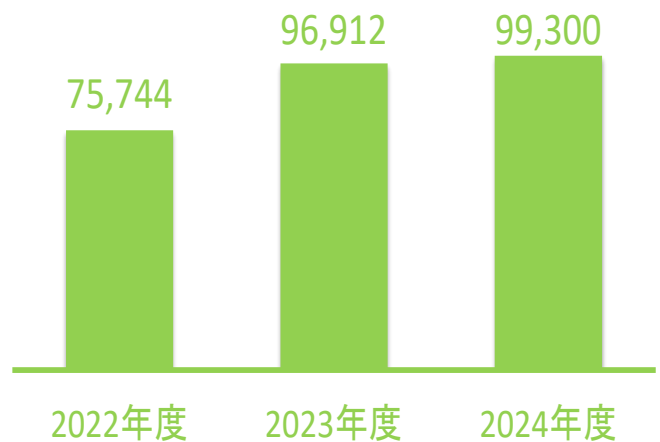
古紙

(kg)



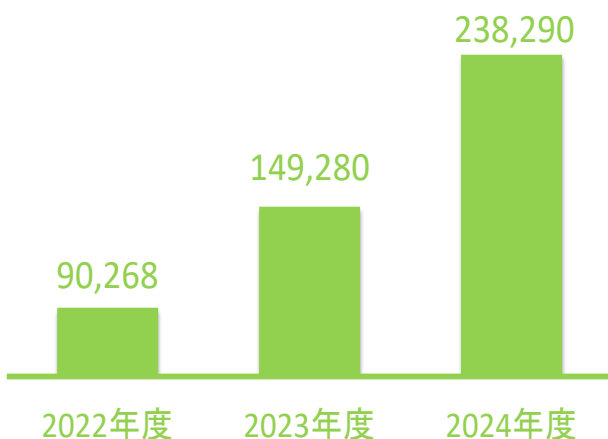
缶

(kg)



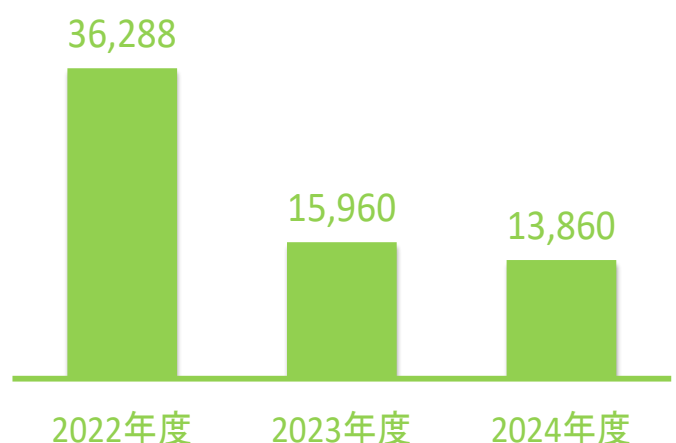
ペットボトル

(kg)



ペットボトルキャップ

(kg)



フードバンク活動（フードバンク団体／子ども食堂への協力）

当社は2017年1月からフードバンク事業への協力をスタート。この事業を通じて、食品ロスの削減をはじめ、こども食堂の支援・子どもの居場所づくりの活動支援などの社会課題の解決に取り組んでいます。

フードバンク

「食品銀行」を意味する社会貢献活動です。まだ食べられるのに、様々な理由で処分されてしまう食品を必要とされている施設や人に届ける活動のこと。

支援者



フードバンク



お届け先

- ・子ども食堂
- ・児童養護施設
- ・支援施設・福祉施設
- ・女性シェルター など

フードバンク活動

店舗で変形・パッケージ破損した常温商品などを提供



当社からの年間提供量

4, 092 k g

フードバンクポスト

寄付する商品を気軽に持ち寄れるようにコミュニティの場所にポストを設置



当社店舗設置ポストの年間回収量（40ヶ所）

6, 638 k g

こども食堂

子どもがひとりでも安心して来られる無料または定額の食堂。食卓のだんらんを通じ、地域のつながりを生むことも目的とした場所。



食堂でお使いいただく青果・果物などを当社店舗からご提供しています。

年間提供量

3, 748 k g



子育て支援への取り組み

フードバンクへの商品寄贈

2024年6月と11月に、北九州市における子ども食堂の支援に向けた取り組みに関する協定に基づき、経済的困難を抱える子ども・子育て家庭等の夏休み及び年末年始の食事を支援するため、NPO 法人フードバンク北九州ライフアゲインに食品寄贈しました。当社は日頃からフードバンク活動を強く支援しています。



下関市妊婦さん応援パックの寄贈

2020年から毎年、妊婦さんを応援するためNPO 法人下関子ども・子育てネットに、「妊婦さん応援パック」を寄贈しています。助産師さんや先輩ママが選んだ妊娠中に食べやすい商品を詰め合わせたパックです。今年度は2024年6月に200セット寄贈しました。



- ・ロッテゼロシュガーフリービスケット
- ・キリンおいしい免疫ケア
- ・ニチフリ素材派ふりかけ
- ・AGF プレンディカフェオレカフェインレス
- ・アーモンドフィッシュ
- ・くらし良好 国産水揚げさば味噌煮缶
- ・大塚製薬 SOYJOY ブルーベリー



多胎児家庭に応援パック贈呈



2024年12月、多胎児家庭の子育ての負担軽減を目的に、「NPO 法人あっと」と連携し、多胎児家庭に食料品などを詰め合わせた「多胎児家庭応援パック」を配布しました。

応援パックには簡単に調理できるインスタントみそ汁、レトルトのパスタソース、気分転換できるお菓子など7商品を詰合せました。

当社は、2020年10月に山口県と子育て連盟により設立された「やまぐち子ども・子育て応援コンソーシアム」を通じて、様々な子育て支援活動を行っています。

Childcare Support

食育活動

2024年度は、1自治体および2ヶ所の保育園・幼稚園で食育体験ツアーを実施しました。

地域の健康な食生活のお手伝いを行ってきた当社の取組の一環で、2006年より5A DAY（ファイブ・ア・デイ）協会に加盟し、様々な小学校および幼稚園・保育園で活動を行っています。

正しい食生活の習慣は、幼い時期から野菜や果物の大切さを知ってもらうことが重要だと考え、栄養士の先生からのお話、サラダの簡単調理や試食などを通して、バランスのとれた食生活の重要性を学び、野菜や果物に親しみをもってもらいたいことを狙いとしています。イベントには、子供に人気の当社の食育キャラクターの「いくまるくん」も登場し、園児たちに喜ばれています。



児童画コンクール



第63回目の開催となった「児童画コンクール」には、山口県内から5,352件の応募がありました。毎年「家族にありがとう」というテーマで、年少から小学6年生までを対象に、家族での思い出のひとコマを描いていただいています。

審査は山口県造形教育研究会にお願いし、特別賞12作品を選出していただきました。このような児童画コンクールの活動を通じて幼児・児童の情操教育を応援しています。

マルチステークホルダー方針

2024 年 4 月に、マルチステークホルダー方針を策定しました。

多様なステークホルダーとの価値協創による収益の適切な分配

(株主・従業員・取引先・顧客・地域社会との協働)

①従業員への還元

生産性向上・付加価値の最大化



賃金引き上げ

具体的取組

- 賃金の引き上げ
物価上昇・業績に応じた昇給
- 教育訓練の強化
社内階層別研修、外部研修、店舗視察
- 奨学金返済支援制度
安心して働ける環境整備

②取引先への配慮

公正で持続可能なパートナーシップ

具体的取組

- サプライチェーン全体の共存共栄と新たな連携
- 「振興基準」の遵守（下請中小企業振興法）
 - ① 価格決定方法
 - ② 手形などの支払条件
 - ③ 知的財産・ノウハウ
 - ④ 働き方改革・災害時の配慮
- その他（任意項目）
 - 不当・不合理な依頼を行わない
 - 取引価格の合理的な交渉
 - 「サステナビリティ基本方針」の準拠

地域スポーツ振興への取り組み

当社では、長年スポーツ振興に寄与すべくスポーツイベントに協賛しています。

2024 年度に主催したスポーツイベントは下表のとおりです。



マルキュウカップ第 39 回山口県小学生バレーボール選手権大会

5/19	第36回 丸久杯 親睦ゲートボール大会
6/24	第6回 マルキュウカップ グラント・ゴルフ大会
6/30	マルキュウ ポリスエットカップ in YAMAGUCHI 2024 (テニス)
9/8	第33回 マルキュウカップ山口県ママさんバレーボール選手権大会
10/20	第19回 オータムマルキュウカップ2024 (テニス)
10/26	第40回 マルキュウ・S&B杯ちびっ子健康マラソン大会
11/23	マルキュウカップ第39回山口県小学生バレーボール選手権大会

Regional Cooperation

共同出資会社「海響みらい電力」を設立



2024年6月、下関市や地元企業と共同出資し、地域新電力会社「海響みらい電力」が設立されました。脱炭素社会の実現に向けて、地域でできる再生可能エネルギーを「地産地消」することが目的で、2025年4月より電力の供給を開始する予定です。電力の買い入れは、焼却熱を元に電力を生み出す市のごみ焼却場である奥山工場や長府バイオマス発電所から行います。当面の供給先は市の庁舎や学校などの公共施設、下関市内の丸久グループ店舗からスタートし、ノウハウや基盤を構成後、2028年4月から一般家庭や事業所に供給する予定です。

丸久 × 山口県立大学 コラボ弁当販売

2024年12月、前年度に包括連携協定を締結した山口県立大学との具体的な取り組みとしてコラボ弁当「わいびよ弁当」の販売を行いました。山口県の姉妹都市であるスペイン北部のナバラ州に因んで、スペイン料理をメインとしたお弁当を開発しました。スペイン料理に山口の郷土料理や食材をプラスし「スペインの味と山口の恵みを楽しめる体にやさしいお弁当」となりました。



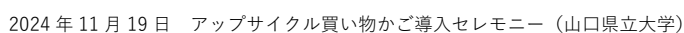
防府天満宮へ災害時備蓄水を寄贈

2025年1月に防府天満宮監修の「防府天満宮の水」を災害備蓄水として、500ml × 24本 100ケース（1年分）を防府天満宮に寄贈しました。

また、当社でのこの水の販売額の一部（1本につき10円）は、防府天満宮並びに地域の発展にお役立ていただくため、防府天満宮に寄付されることになっており、2024年度（2024年3月～2025年2月）の寄付額は、723,530円となりました。

今後も万が一の地域の有事の際に備えて、しっかりとした支援を行っていきたいと考えております。

この事業は、2021 年度に山口県の呼びかけにより始まったもので、海洋プラスチックごみ問題を、県民・行政・民間企業が一体となって考え行動する S D G s の取組で、大きく 3 つのアクションからなります。①多くの県民ボランティアにご協力いただく「海岸清掃」、②回収したポリタンクを海色の買い物かごに生まれ変わらせる「アップサイクル」、③できあがった買い



ONE FOR OCEAN

みらいの美しい海へ

丸久は、SDGs活動の一環として、行政、市民の皆様の協力の下、協賛企業とともに、山口県の海岸に漂着する海洋プラスチックを原料の一部にして、海色の買い物かごを作製し、店舗に導入しています。

アップサイクル!!

海洋プラスチックを原料の一部に使った買い物かご

導入実績	
2021年	3,000個
2022年	3,500個
2023年	3,200個
2024年	3,000個

これまでの導入店舗	
*アルク薬局 *アルク安国店 *アトラス紙店 *アルク格好店 *アルク西宇部店 *ワイルド山中央店 *中興〜平田店 *サンマーク書店 *センザキッチン	*道の駅阿武東 *アルク良門店 *アルク惣菜店 *アルク小島店 *アルク福祉中央店 *アルク栄店 *アルク学生店 *アルク光井店

山口県立大学の学生もボランティアに参加してくれました！

山口県立大学の学生が制作したポスター・YouTube動画

Environmental Issues

店頭での廃食油回収を開始＜S A F 燃料にリサイクル＞

2025 年 3 月から、山口県防府市内の 3 店舗（アルク防府店、アルク中関店、サンマート右田店）において、家庭から出る廃食油用の回収ボックス設置を開始しました。この取り組みで回収された油は、日本航空の SAF（持続可能な航空燃料）としてリサイクル・活用されます。

今回の廃食油回収を通して、食品ロスの削減と SAF 製造を推進し、環境負荷の低減に貢献してまいります。店頭で設置している専用ボトルと参加費 220 円（税込）を交換することでこの活動にご参加いただけます。

廃食油の回収・リサイクルの流れ



*1 Used Cooking Oil の略称 *2 国内 SAF 製造プラントの完成まではバイオディーゼルに活用されます。

イラスト提供：日本航空株式会社



財務活動による環境への取り組み

当社は 2022 年度に、株式会社山口銀行と山口県内初となる「グリーンローン」の借入契約を行いました。「グリーンローン」は、企業の地球温暖化などの環境改善に向けた取り組みについて、その効果を外部評価機関からの評価を取得し借入を行うものです。当社の取り組みは、店舗の冷蔵冷凍設備を省エネルギー性能が高く、オゾン層への影響のない冷媒を用いた機器への入替を進めていることへの評価をいただいています。「グリーンローン」を利用した機器の入替実施は、18 店舗となり、2024 年度 1 年間の効果については、入替実施前と比較して電力使用量が 26.8% 減少、CO₂ 排出量は、1,961 トン削減が図れました。

募金活動／災害救援

Fundraising Activities

「令和 6 年能登半島地震」への対応



2024 年 1 月に発生した「令和 6 年能登半島地震」について、1 月 4 日（木）から 2 月 4 日（日）まで、リテールパートナーズグループにて、店頭募金を実施しました。
多くのお客様より寄せられた救援金と当社からの義援金を合わせ 165 万円を日本赤十字社 山口県支部及び佐伯市役所（大分）に寄託しました。

「2024 年台湾東部沖地震災害救援金」への対応

2024 年 4 月に発生した「2024 年台湾東部沖地震」について、4 月 5 日（金）から 5 月 15 日（水）まで、リテールパートナーズグループにて、店頭募金を実施しました。

多くのお客様より寄せられた救援金と当社からの義援金を合わせ、400 万円を日本赤十字社 山口県支部に寄託いたしました。



「令和 6 年 9 月能登半島大雨災害義援金」への対応



2024 年 9 月下旬に能登半島を襲った大雨災害について丸久グループでは、9 月 27 日（金）から 10 月 31 日（水）に丸久グループ店舗など 93 箇所で店頭募金を実施しました。

多くのお客様より寄せられた救援金 144 万 705 円を日本赤十字社 山口県支部に寄託いたしました。
寄託された救援金は、日本赤十字社本社を通じて、現地の赤十字組織が実施する被災者支援活動に活用されます。

Fundraising Activities

24時間テレビチャリティ募金



2024年8月3日から9月1日までの間、店頭募金を実施しました日本テレビ主催の24時間テレビ「愛は地球を救う」チャリティー募金に、当社からの募金とを合わせた500,000円を、9月25日（水）に山口放送株式会社の林延吉社長へお渡ししました。この募金は、24時間チャリティー委員会を通じて、災害援助、福祉支援、地球環境保護支援などに使われます。

多くのご協力、誠にありがとうございました。

「チームやまぐち応援募金」について

2024年11月28日（木）に公益財団法人山口県体育協会へ267,303円の寄付目録を贈呈しました。

2016年度より、山口県内のスポーツの振興を目的に「チームやまぐち応援募金（寄付つき商品）」を企画し、弊社店舗で対象商品を販売してまいりました。

今回贈呈した寄付は、2024年6月から10月までに販売した対象商品に関するもので、国体選手の強化および県内のスポーツ振興に広く使われます。



「チームやまぐち」応援弁当 第1弾 ²⁰²⁴ (6/1~7/31)

食ベトレ弁当 をお買い上げ頂くと **1食につき2円** 山口県スポーツ協会に **寄付** され、国体選手をはじめとするスポーツ選手の競技力向上のために役立てられます。

このシールが目印です！



食ベトレ弁当 ~ のり弁DX ~ **本体価格 420円** (参考税込価格454円)



【ご飯・穀類】
焼きそば、白ごはん(海苔・おかかトッピングあり)
脳と体のエネルギー源。即効性のある糖質は集中力やスタミナアップに役立ちます。

【魚・肉・卵のおかず】
白身フライ(タルタルソースのせ)
ちくわの磯部揚げ

筋肉や血液のもとになるからだ作りの基本材料。複数の蛋白質源を食べることで異なるアミノ酸・ビタミン・ミネラルがとれます。

+ 野菜が不足しがちなでカップサラダ等で補いましょう。
乳製品・果物・水分補給もしっかりしましょう。

